






No.	地域力創造アドバイザー		所在地	主な取組と実績	
1		新谷 耕司 (株)ANA総合研究所 主席研究員)	民間 専門家	東京都 港区	<p>多様な野鳥の「観察環境」の整備を通じた国内外からのバードウォッチング観光客の誘致と地域の雇用環境の改善 野鳥観察観光誘致という比較的新しい観光分野の研究に2000年頃から取り組んでいる。具体的には、日本一豊かな野鳥の生息環境を有する道東地域に着目し、同地域において啓蒙活動・教育活動・人材育成・施設整備の具体案についてアドバイス。特に、2007年6月からは、月1回のペースで根室市を訪れ、市民の方々に野鳥観察会(野外)を開催し、見落としている地元の有力な観光資源である「野鳥」の重要性を訴えている。</p>
2		日垣 敏之 (株)ANA総合研究所 主席研究員)	民間 専門家	東京都 港区	<p>物産振興(ブランド化)から観光振興(交流人口の拡大)へ 人的ネットワークを最大限に活用し、地場産品のブランド化を中心にコンサルティングを行っている。具体的には、2006年に対馬の一夜干しやしいたけ等の農水産物を使ったホテルレストランフェアを開催、販路開拓に向け大手デパートにおいてお歳暮、お中元商品として対馬の「しいたけ」を販売、また、一人でも参加できる観光ツアーの料金設定や交通手段の導入等、様々な取組を実施している。</p>
3		金丸 弘美 (食環境ジャーナリスト・食 総合プロデューサー)	民間 専門家	東京都 調布市	<p>味覚ワークショップを取り入れた食育と食をテーマにした観光振興事業 地域の食材のテキストを作成し、その歴史から栽培法、料理までを知る食育ワークショップを、学校から一般向けまで広く開催。行政、学校、生産者、商店街、料理家等の幅広い参加を促し、食育が地域のブランド作りから観光、商品開発まで結びつくよう、マーケティングの要素を入れ、年間計画を立てて実施している。 これまで大分県竹田市、佐伯市、豊後大野市、玖珠町、佐賀県唐津市、長崎県平戸市、茨城県常陸太田市、岐阜県高山市などの食のアドバイザーを手がけた。</p>
4		井上 弘司 (地域再生診療所 所長)	民間 専門家	長野県 飯田市	<p>農山村の資源を総合的に活用した都市農村交流 市役所職員時代には、1998年にスタートさせた『ワーキングホリデーいいだ』の展開で、都市住民にボランティアの田舎づくりに参加する機会を提供し好評を博した。中学生中心の体験教育旅行のノウハウを活用し、都市の子どもたちの自然・農業・文化・食育活動を支援する短期長期の体験事業や一般向けの農村まるごと体験ツアーを観光係と共に企画実施し、南信州観光公社の事業として定着させた。</p>
5		藤崎 慎一 (株)地域活性プランニング 代表取締役)	民間 専門家	東京都 港区	<p>ビジネス視点でのコーチングにより、住民を自立させての地域活性で成果を上げる 「宮崎青島再勢会議」(宮崎県)では、宮崎青島地域を再生させるために、地域住民が主体となったまちづくりワーキングを実施し地産地消を目指す新名物「あしたばうどん」の開発や様々な案の検討。また、「伊勢志摩再生プロジェクト」(三重県)では、どん底に落ち込んだ伊勢鳥羽志摩地域を再生させるために、地域の「ばか者9人」とよそ者の私計10名が指名を受け、月1~2回徹底した議論を展開、同時に行動し、地域課題を解決、そして成果を上げた。</p>

No.	地域力創造アドバイザー		所在地	主な取組と実績
6		中川 哉 (江津市建設経済部農林 商工課総括主任)	市町村 職員 島根県 江津市	多様な主体の連携による定住促進事業～江津市人材移入プロジェクト～ 2005年度より、市、NPO、宅建・建設業者が連携し、空き家を活用した定住促進事業を開始。以後、NPOが移住希望者等へ空き家を紹介する仕組みを組込むとともに、不動産仲介の専門業者等と連携し、農山村部の空き家を移住希望者へ円滑に提供できる体制を整備。また、空き家活用マニュアル・Q&Aや空き家地図情報提供システムの整備とともに、住居と雇用情報の窓口一元化による定住相談の充実を図っている。更に、空き家を市営住宅(6戸)として活用する仕組みを構築した。
7		木村 修 (伊賀の里モクモク手づく りファーム代表理事)	民間 専門家 三重県 伊賀市	農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」による地域の活性化 三重県伊賀市山麓に自然・農業・食農学習をテーマにした農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を作り上げる。1987年、たった一人の船出だった。専務理事、吉田修と共に、「脱・既成農業」の名の元、ユニークな手法と情熱で、20年間で従業員300名、年間38億円に到達、農業界で「モクモク」の名を知らないものはいない、という規模まで育てた。人口8,700人の旧阿山町(現・伊賀市)に、年間50万人の観光客が訪れる。
8		篠原 靖 (東武トラベル(株)企画 仕入部副部長/文教大学 国際学部講師)	民間 専門家 東京都 墨田区	観光による地域振興を応援します。ニューツーリズム・広域観光圏などをベースに持続可能な観光地づくりを…… 奥会津地方における広域観光による集客の支援をして、2006年100名に満たなかった首都圏からの宿泊客が2年後の2008年には1万人を突破した。また、内閣府地域活性化伝道師として観光客の落ち込みが激しい観光地・温泉地の建て直しを現在全国10箇所以上で展開し、地域の個性を生かした観光資源の再発掘をニューツーリズム(広域観光圏・産業観光・ヘルスツーリズム・エコツーリズム・着地型観光)など新しい視点で観光地域振興を再構築をする仕組みづくりを支援。
9		斉藤俊幸 (イング総合計画(株)代表 取締役)	民間 専門家 東京都 杉並区	食づくり、酒づくりの雇用創出、地域再生 荒尾市地域再生マネージャーとして農林水産課地域再生係に赴任。商店街に住み、約2年半地域再生事業に取り組む。高齢者が孤立している地域に「徒歩圏内マーケット」を設立し、市内各地に多店舗展開(3店舗)を図った。地域にお金が落ちる仕組みを構築し、連携組織を活用したやる気のある担い手育成を図ったことで、年間売り上げは1億円近くにまでなっている。また、熊本県宇城市の地域再生マネージャーや大分県竹田市のまちづくり仕掛人として活動。
10		井手 修身 (アイデアパートナーズ(株)代 表取締役社長)	民間 専門家 福岡県 福岡市	地域再生における現場力のある人財と組織の向上術 ～波佐見グリーンクラフトツーリズムに見る人財と組織～ 組織づくりとマーケティングのプロとして、直接現場に入って実績を生み出している。具体的には、陶磁器産業の町である長崎県波佐見町の窯業生産高が激減していた状況にあったのを、窯業に地域資源を組み合わせ、ツーリズムの観点からサービス産業へ転換するきっかけを作った。地域住民の自立型、内発型な活動を仕掛けることにより、行政とのWin-Winの関係の仕組みづくりを応援し、「波佐見はホント元気になったバイ！」といわれるようにまでなった。
11		玉沖 仁美 (株)春夏秋冬 代表取締 役)	民間 専門家 東京都 千代田区	コーチングや短期解決型カウンセリングの技術で地域振興に関する実施サポート 島根県海士町では、地元産の食材を用いて「さざえカレー」の開発を行い、年間生産可能な5万個をほぼ完売した。また、沖縄では、ツーリズムに着手したいが立ち止まっていた状況から「国頭の観光交流を考える会」を立ち上げ、住民主体で学び、しくみを構築。現在は住民によるNPO法人として独立。「三重ブランドアカデミー」では、食に関する事業者の人材育成事業として1年間に10数事業者を担当し、新商品開発、売上げ増額に結びついている。